

佐藤ゆきお 日々の活動



●山の寺丁目3
5-21付近
環境整備
7月22日 調査
7月28日 完了

歩道まで伸びた雑草を除去。危険な歩道の整備。



●天神沢1丁目
26-17付近
環境整備
2月4日 調査
11月17日 完了

樹木が生い茂り、見通しが悪く危険な樹木を伐採。



●南光台1丁目
14-10付近
歩行道整備
10月21日 調査
11月10日 完了

保育所に通う児童がつかずいて危険。破損歩道の整備。



●八乙女4丁目
16付近
環境整備
10月7日 調査
10月30日 完了

歩道まで伸びた雑草を除去。危険な歩道の整備。

佐藤ゆきお 市議会通信

SATO YUKIO SHIGIKAI TUSHIN
【泉区】IZUMI-KU

10

「七北田川 水位計 等」の会派視察 2017年11月



第4回定例会にて本市の課題を訴える！

皆様には日頃より、真心こもるご支援を頂きまして、心より御礼申し上げます。
平成29年 第4回定例会(12月7日～12月22日)が開催されました。当会派の代表質疑では、東日本大震災より6年9ヶ月が過ぎましたが、「最後のお一人が生活再建、そして心の復興を成し遂げるまで復興は終わらない」との思いと、市政の最重要課題である「いじめ問題等」について早急な対応を推進するよう市長へ訴えて参りました。これからも最後のお一人まで寄り添った復興、そして最重要課題についての取り組みを力強く推進して参ります。

今議会では、「介護職員等処遇改善キャリアアップ補助金・都市ガスの安全安心対策・放課後児童クラブの拡充」等について一般質問をさせて頂きました。
(一般質問の内容や答弁は、抜粋にて掲載)
これからも皆様の「声」を実現するために、何事にも全力で対応し、更なる「安心・安全」そして「暮らしやすい仙台」を目指し、推進して参ります。

一人の声を
市政に
つなぎます
VOL. 10

2018年1月発行
発行元/仙台市議
会公明党市議団
仙台市議会議員
佐藤 幸雄
仙台市泉区南光台1
-56-15-1
TEL.022-272-4863
Email yukio@
sendai-komei.jp



議会質問履歴

- 平成27年度定例会
一般質問 (第3回)
決算等審査特別委員会(環境費)
- 平成27年度定例会
代表質疑 (第4回)
- 平成27年度第1回定例会
予算等審査特別委員会(環境費)
- 平成28年度定例会
一般質問 (第1・第2・第3回)
決算等審査特別委員会(環境費)
- 平成29年度定例会
一般質問 (第2・第4回)
予算等審査特別委員会(環境費)
- 決算等審査 第3分科会
<所属委員会>
市民教育委員会 (H27年度)
健康福祉委員会 (H28年度)
都市整備建設委員会 (H29年度)
環境・IT・政策調査特別委員会 (H27年度～)
防災・減災推進調査特別委員会 (H29年度)
- 広報委員会 副委員長
(H29年度～)

HP QRコード



SATO YUKIO SHIGIKAI
TUSHIN
VOL.1.0 2018.1

仙台市議会議員 佐藤 幸雄



1. 介護人材確保は本市にとって最重要課題！

【佐藤幸雄議員】国の介護職員への処遇改善策では、資格を上げていかなければ給与が上がらない制度となっており、資格試験を受けられない職員の方は離職される場合が多いと聞いている。本市内で働く介護職員の皆様がキャリアアップするための時間が確保できているのか伺う。

【健康福祉局長】本市としても、高齢者福祉関係団体の方々と協働で、交流会や職種・経験年数に応じた研修を実施している。現場の方々からは、勤務割りなどの関係から、職員が各種研修への参加や資格取得に取り組む時間の確保が難しくなっていると伺っている。

【佐藤幸雄議員】相模原市の「介護職員等キャリアアップ支援事業費補助金」について視察をしてきた。

補助金の対象については「市内で介護サービスを行う法人で介護職員及び看護職員等」となっている。

補助対象事業は、事業所が外部講師を招いて行う「事業所内研修」と「介護職員等を研修へ派遣する事業」としており、介護職員等のキャリアアップに必要な研修が、すべて盛り込まれていた。補助額については、対象経費の2分の1とし、上限額は、1法人12万円となっている。

第4回定例会 一般質問（抜粋） 平成29年12月

本市も介護職員等のスキルアップ助成制度を推進すべき！

直近の平成28年度決算では、9月にはすでに予算額を達して終了。平成29年度は更に予算を増額して実施をされていた。相模原市では、この制度を実施してから介護職員の離職者が大幅に減り、安定的に介護職員が増加されているとのことであった。

本市においても、次代を担う介護職員の離職防止とキャリアアップを推進する為、補助事業を検討すべきと考える。併せて介護職に誇りをもって務められるよう「表彰制度」も進めるべきと考えるが併せて伺う。

【健康福祉局長】提案いただいた資格取得に対する支援、介護従事者の表彰など、関係団体の声も伺いながら、さらなる支援策の在り方等について鋭意検討し、質の高い介護サービスが提供されるよう介護人材の安定的確保・資質向上に取り組んでまいりる所存である。

2. 放課後児童クラブの待機解消について

学校施設を活用し、待機児童を解消すべき！

【佐藤幸雄議員】前・奥山市長は、『女性の活躍を力強く後押しする取り組みである「放課後児童クラブの拡充」に力を尽く

して参りたい』との趣旨の答弁を平成29年度 第1回定例会の一般質問にてされたが、郡市長においては、どのように認識されているのか伺う。

【市長】次代を担う子ども達に放課後の安心できる生活の場を提供し、その健やかな成長を支えるとともに、女性の社会参加を支援、推進するうえで、児童クラブの果たす役割は、今後ますます重要になってくるものと認識している。

近年、保育需要の高まりを受け、児童クラブの登録希望者数も増加傾向にあるが、今後についても、学校施設の活用をはじめとした受け皿の整備と、サービスの向上に努めながら、引き続き、子どもが安心して過ごせる居場所づくりに鋭意取り組んでまいりたいと考えている。

【佐藤幸雄議員】今年度は、残念ながら一部で待機児童が発生した。待機児童が発生した場合、学校の空き教室を最優先で活用出来るよう強く求める。所見を伺う。

【子ども未来局長】児童の安全・安心の確保の観点から、学校施設の活用を最優先に検討することとしており、学校に余裕教室がない場合でも、放課後の時間に限って利用する、いわゆるタイムシェア方式により学校施設を活用しているところである。

現在、学校の協力のもと29学区36か所において学校施設をサテライトとして活用しているところであり、今後とも教育委員会や学校と連携して受け皿の確保に努めてまいりたい。

【教育長】教育委員会としても児童の放課後の居場所の確保は重要であると認識している。

現在も、学校敷地内への児童館の設置や余裕教室の転用、特別教室等を放課

後に使用するタイムシェアなどの手法により放課後児童クラブ事業に協力しているところであり、今後とも、学校施設の活用の面で可能な限り協力してまいりたい。

3. 都市ガスの安全安心について

【佐藤幸雄議員】仙台市ガス局は、「東京ガス」の最新技術を視察して、更に安全安心の取り組みを強化すべきであると考えているが所見を伺う。

【ガス事業管理者】東京ガスが主要メンバーとなっている日本ガス協会主催の各種委員会やワーキンググループに参加し、主要事業者の製造工場や訓練所等の視察等も行っている。その中で、東京ガスをはじめとする安全対策に関する最新情報も共有し、統一した安全基準・方針等を定め、鋭意取り組んでいるところであり、今後とも最新技術等の知見の取得に努め、安全・安心の向上を図ってまいりたい。

